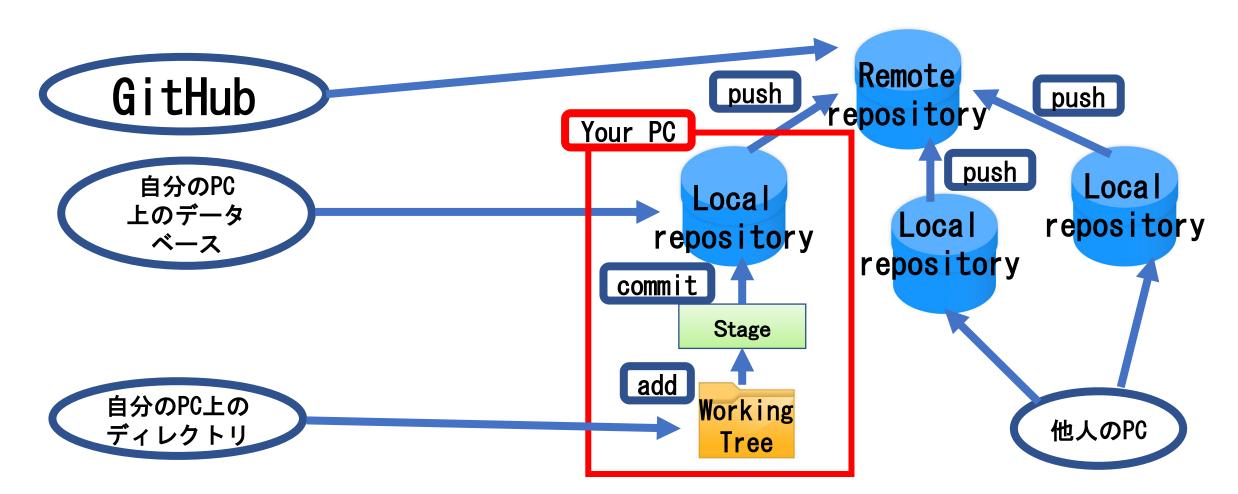
gitの基礎



gitとは何か

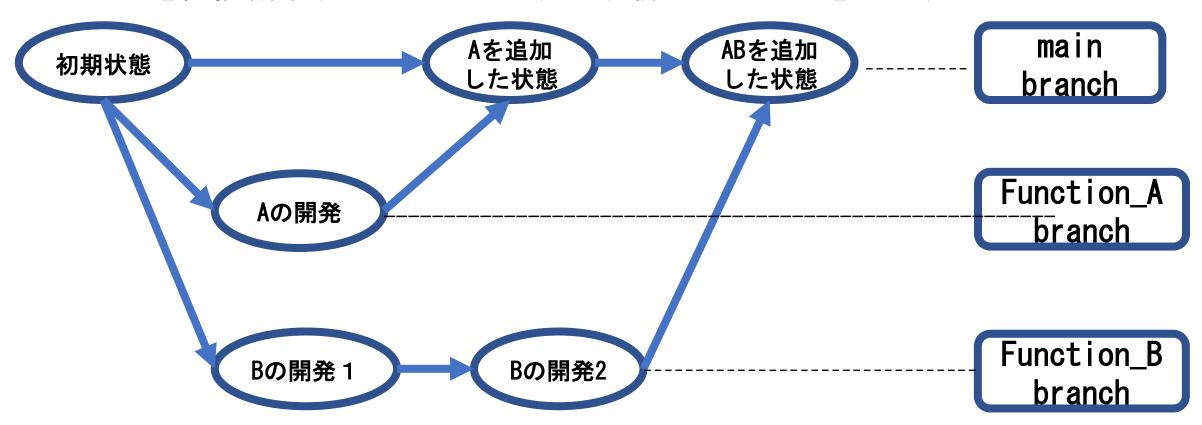
gitはCUI(ターミナル)で操作するオープンソースの分散バージョン管理システムリモートとローカルでファイルの変更履歴をそれぞれ管理する



バージョン管理について

ファイルの追加、編集、削除等の編集履歴をbranchごとに記録する

- ・デフォルトのブランチはmainのみ
- mainを直接編集するのではなく、必ず新しいbranchを作成する

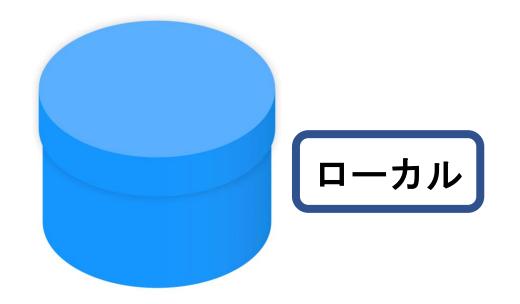


gitのコマンド1 git init

\$git init

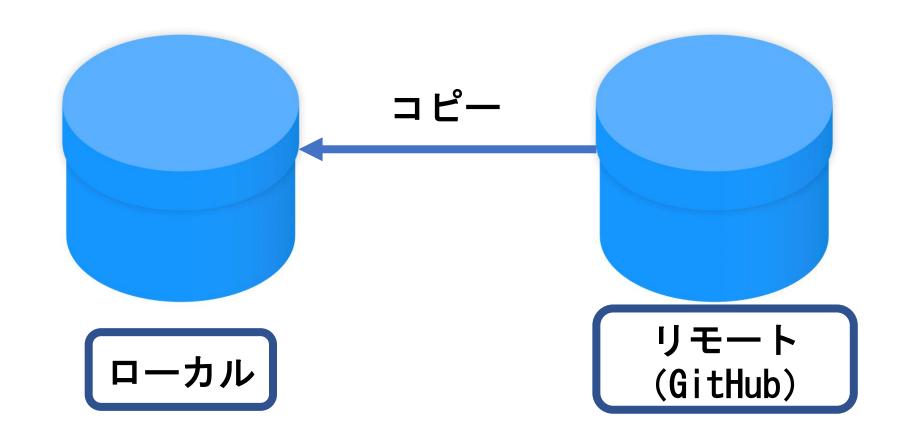
実行した自分のPCの作業ディレクトリにgitで管理するローカルディレクトリを設定するコマンド(.gitというディレクトリを作る)

最初に実行するコマンド(後述するcloneの場合は実行しない)



gitのコマンド2 git clone

\$git clone 〈リモートリポジトリのURL〉 リモートリポジトリの内容をローカルにコピーする(実行した ディレクトリがローカルリポジトリになる)(1回だけ実行)



gitのコマンド3 git branch, git checkout

\$git branch〈新branch名〉branchの作成(branchの切り替えは行わない)

\$git checkout 〈既存branch名〉 branchの切り替え

\$git checkout -b <新branch名> branchの作成と切り替えをする



gitのコマンド4 git add , git commit

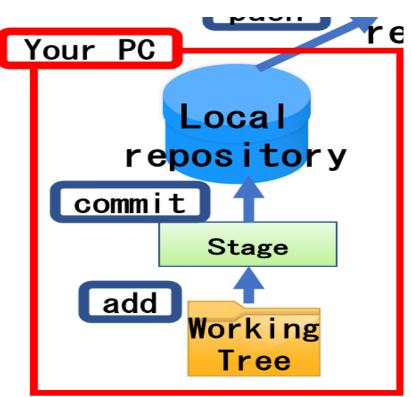
ファイルの変更をローカルリポジトリに登録するためのコマンド

addでステージ(前段階)に上げて、commitでローカルリポジトリに登録される二段階での登録

\$git add .

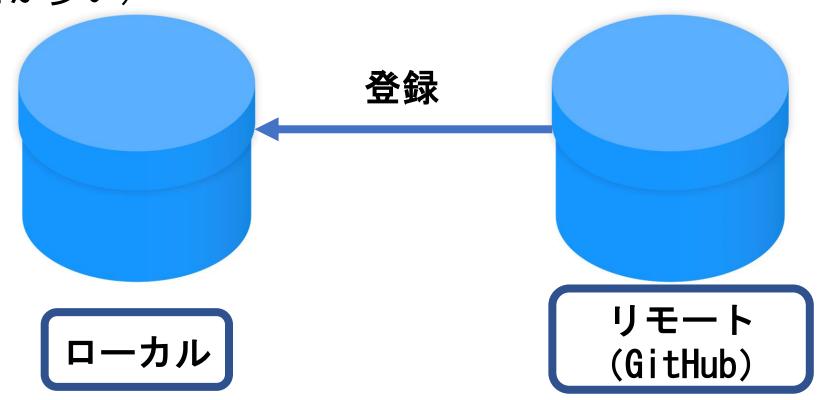
すべてのファイルをステージに上げる (. ではなくファイル名も指定できる)

\$git commit -m "〈メッセージ名〉" コミット時に何の変更をしたか書く



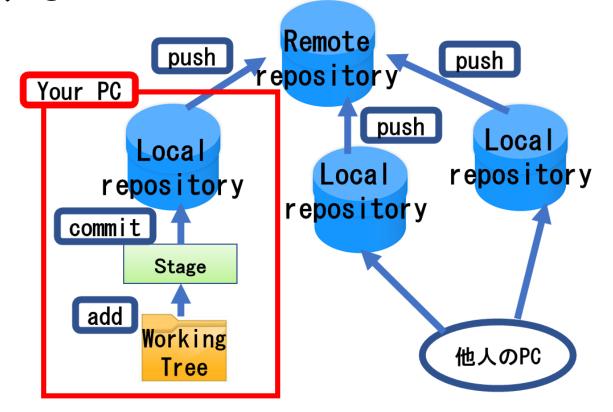
gitのコマンド5 git remote add

\$git remote add 〈リモートリポジトリの名前〉〈GitHubのURL〉 作業したいGitHubのリモートリポジトリをローカルに登録する(1 回だけ実行)(cloneした場合は不要)(リモートの名前はoriginに することが多い)



gitのコマンド6 git push

\$git push 〈リモートリポジトリの名前〉〈ブランチの名前〉 ローカルリポジトリの内容(1つのブランチ)をリモートリポジ トリに登録する

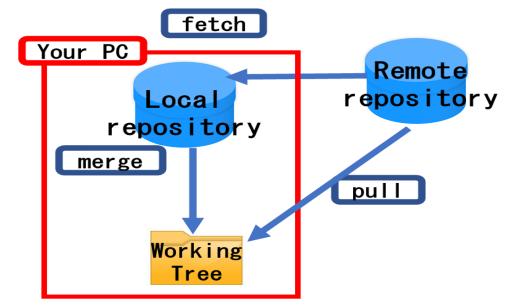


gitのコマンド7 git fetch, git merge, git pull

\$git fetch 〈リモート名〉 リモートリポジトリの内容(1つのブランチ)

をローカルリポジトリに登録する (pushの逆)

\$git merge 〈branch名〉 ローカルリポジトリの内容を 作業ディレクトリに反映する (add+commitの逆)



\$git pull 〈リモートリポジトリの名前〉〈ブランチの名前〉 fetchとmergeを同時に行う(add+commit+pushの逆)

GitHubとは

gitを利用したソースコードのホスティングサービス(基本料金無料)

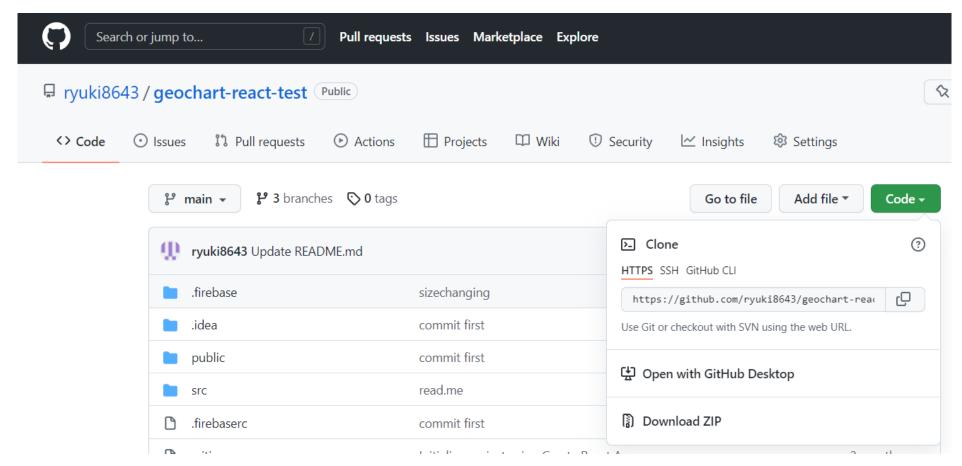
gitとは違いGUI(ブラウザ上)で操作する

gitにおけるリモートリポジトリの機能を果たし、GUI上でコードレビューやテスト、他人のソースコード検索など様々な追加機能を持ち使いやすい。

非公開のprivateリポジトリと公開のpublicリポジトリがあり、個人が複数のリポジトリを開設することが可能(1リポジトリ10GBまで)

GitHub上での操作0 clone用のURL取得

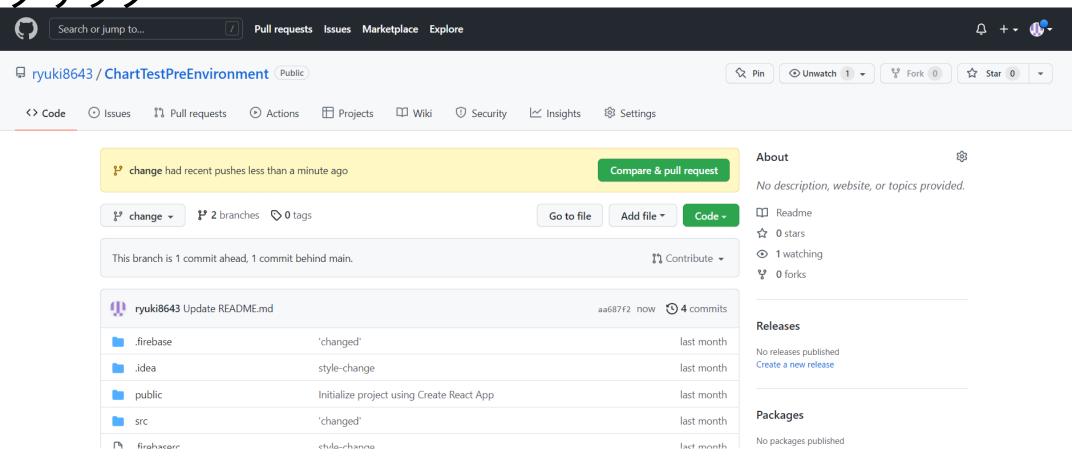
Codeボタンを押すとHTTPS、SSHでcloneするためのURLが出てくる



GitHub上での操作1 pull requests

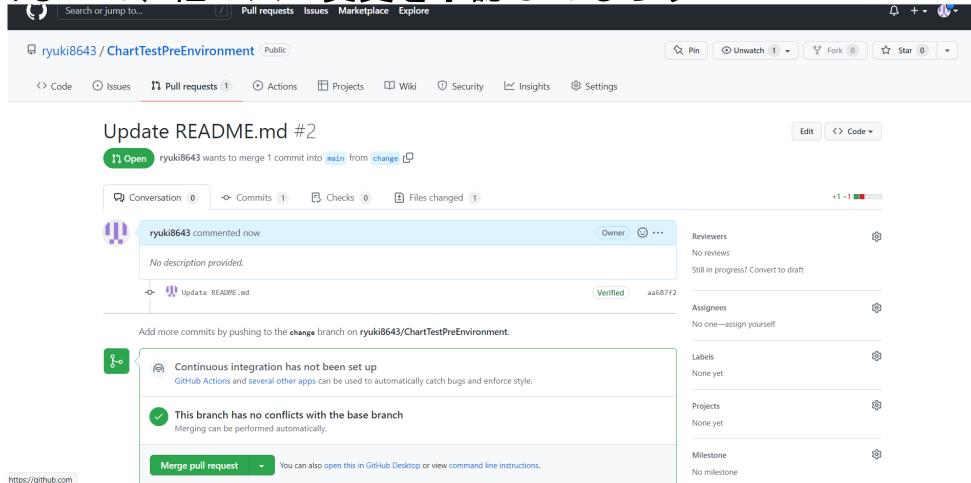
pull requestsは変更を承認してもらうための作業

branchをpushするとcompare & pull requestのボタンが出るので クリック



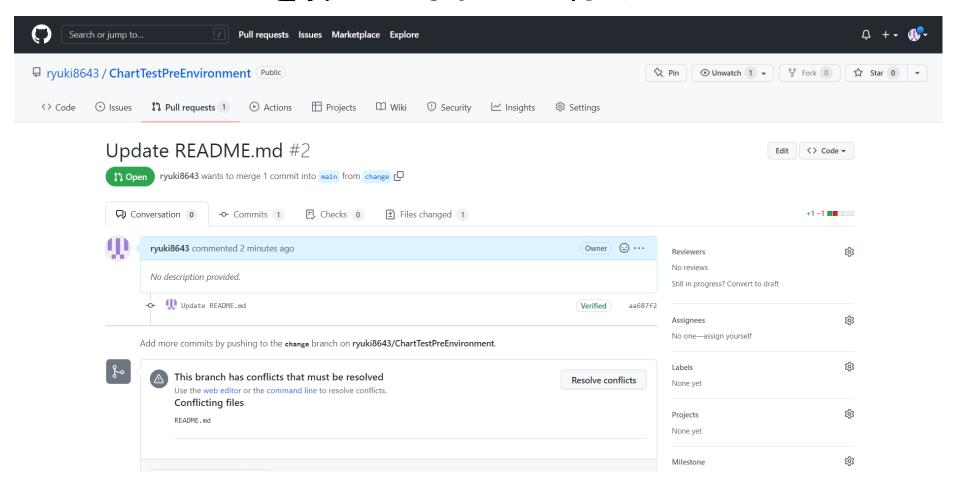
GitHub上での操作1 pull requests

Create pull requestを押して特に問題なければ、able to merge と出るので、他の人に変更を承認してもらう



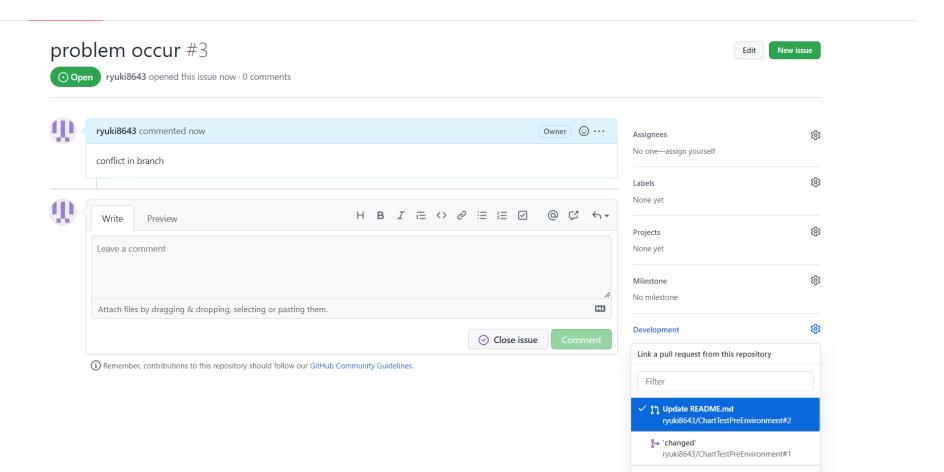
GitHub上での操作1 pull requests

Create pull requestを押して問題があるとconflictって出るのでResolve Conflictを押してなおしに行く



GitHub上での操作2 issue

IssueにはDevelopmentのボタンからcommitと紐づけられる機能がある。解決したらclose issueを押す



まとめ

- 1. gitはリモート(GitHub)とローカル(自分のPC)による分散バージョン管理システム
- 2. 最初にinitかcloneをする(init後にリモートを登録するのは remote)
- 3. 変更をリモートに反映するのはadd commit push
- 4. 変更をリモートから取得するのはpullまたはfetch+merge
- 5. branchの作成はbranch、切り替えはcheckout
- 6. GitHub上ではpull requests とissueを作る

gitでの作業で気を付けること

- 1. mainのbranchでは絶対に作業せず、変更のたびbranchを作ること (人の作ったbranchで作業するときも同様)
- 2. branchは機能の追加ごとなど適切な頻度で作成すること
- 3. commitは一度に大量の変更に対してに行わず、作業の区切りごとに回数を分けて実行する
- 4. file名、commitメッセージ、branch名等は英語で、他人に分かりやすく、一意性のあるものにすること
- 5. Pull requestの承認は他人にしてもらうこと

git、GitHubの最初にやる作業

\$git config --global user.name "<GitHubのユーザー名>" \$git config --global user.email "<GitHubに登録したEmail>"

GitHubにssh鍵を登録(今日やんなくてもいいが、GitHubをPrivate (非公開)で開発するときとかに必要)

https://www.sejuku.net/blog/74220

https://qiita.com/zakio0227/items/fcbad988c53f578ca3b2?msclkid=bcd64a12c21e11ec8c2d4c043713db07

ハンズオン

1.他人の作ったリポジトリにbranchを作り、変更にpullrequestsを出してみる

https://github.com/ryuki8643/git-handson

2.自分で新しくGitHubのリポジトリを作って最初のコミットを行う。